

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「魅力あるさかきモノづくりの発信・共有・交流支援」事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人さかきテクノセンター (埴科郡坂城町大字南条4861-35)
事業区分	オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,748,026円 (うち支援金: 3,965,000円)

事業内容

地域住民の理解のもとに、地域に根差した企業・関係団体が一体となって、坂城町のモノづくり技術を町内外に発信する「2017さかきモノづくり展」「ふーど市」を開催した。

また、関連企画としてモノづくりの楽しさを学ぶ夏休み親子3Dプリンター体験教室、大人のための3Dプリンター体験教室を開催すると共に、大学生及び地域住民向け企業見学会を実施し、キャリアリクルート等への足掛りや町内製造業への理解とモノづくり技術の見聞を通じて坂城町の魅力を再確認する場とした。



【3D】プリンター体験教室

【目標・ねらい】

- ①地域住民の理解による産業の活性化
- ②地元企業と関係団体との連携
- ③産学官民一体となった町の魅力確認
- ④次代を担う人材の育成支援

事業効果

- ・坂城町の技術や製品を紹介する「2017さかきモノづくり展」と坂城町商工会の協力による農商工連携イベント「ふーど市」を2日間に渡って同時開催し、坂城ブランドの発信に努めた。

※参加者 6～7日2日間で延べ2,000名来場

- ・坂城町と連携協定を締結する4大学(信州大学、長野大学、埼玉工業大学、金沢工業大学)の後援、出展はもとより、町内小学生、中学生、高校生、そして大学生に至るまで、次代を担う児童生徒にモノづくりの楽しさや地元企業の活躍を見聞できる場を設けることにより、「郷学郷就」に向けての取組みを行った。

※自己評価【A】

【理由】
モノづくり展を通じて町工業の技術と広く地域住民との交流が図れた。

今後の取り組み

坂城町産業の特徴である工業集積を基軸に、町内外からヒトやモノを呼び込む基盤産業の役割を地域住民と共に共有できる場、更には次代を担う児童生徒にモノづくりへの関心を高めながらの「郷学郷就」に向けて、産業展示や企業見学会などの機会拡充に努めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある